

これは、いじめを体験、よく知る大人たちから  
君たちへの応援メッセージだ!

# いじめ回復マニュアル

—大人たちから君たちへ—

いじめは学校だけの問題なのだろうか?  
家庭も、地域も一緒になって考えよう!



大事なのは、きみにも、ぼくにも、  
みんなにいじめの心があることを知ることなんだ!

いじめやひきこもりを体験し、それを乗り越え、いま農業や漁業、震災からの復興に取り組んでいる青年たちの姿が示すもの。  
いじめを学校の問題だけで終わらせてはいけない。教師、保護者の立場を越えて見えてくる、いじめの本当の姿。  
それらと向き合い、回復していくための知恵はなんだろう。

上映時間17分 [C#7499]  
DVD 本体価格 66,000円(税抜)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17  
<http://www.toei.co.jp/edu/>

# いじめ回復マニュアル

—大人たちから君たちへ—



いじめは学校だけの問題。私たちはどこかでそう思い込んでいないでしょうか。対策がされながら、いじめはなくなる。それは、いじめを学校の中だけで解決しよう、できると思い込んでいるからでは…。本作品は、いじめを学校・家庭・地域・社会全体の課題として見つめ直し、いじめ体験がある、いじめをよく知る大人たちが、児童・生徒・いじめを抱える子どもたちへ、いじめ回復の道筋を提言するものです。

## 内容

### (1) いじめ、ひきこもり体験の大人たちから君たちへ

福島県からの自主避難生徒の自殺。自主避難後、進学した大学で講師からの心ないジョークによって不登校となった大学生…。原子力災害に遭った福島県民、出身者へのいじめ、差別は震災直後からいまでも続いています。その福島で、地域の再生、新生に取り組む漁業、農業の青年たち。いまは、地域の活動に取り組み、地域リーダーとなっている彼らにもいじめ体験やひきこもり体験がありました。

いじめは福島だから起きたわけではない。いじめはいつでもだれにでも起きる。その視点から、自身の体験で得たいじめ回復の知恵、ヒントを子どもたちに伝えます。



### (2) いじめが終わらない、終わらせることのできない要因

いじめを終わらせることのできない大きな要因は、直接の被害者、加害者のほかに、いじめを容認している、観衆・傍観者といわれる人々の存在です。

いじめの当事者もそれを眺めている者も互いを尊重できる環境をつくれれば変わっていけるはず。多様な人が共にいられる社会づくり…。学生、若い社会人と地域づくりに取り組む NPO 法人代表が自身の経験にもとづく、いじめと社会のつながり、問題を提言。子どもたちへのアドバイスを送ります。



### (3) いじめ回復に必要なもの

いじめを生む要因にあるものは何なのか。いじめをつくり、拡散しているものは何なのか。それを少なくする、あっても回復するために、学校だけでなく、家庭、地域にいまなにが求められているのか。

いじめ対策研究やワーキンググループにも参加経験のある校長先生や保護者代表が、これまでとは異なる現場の視点、生活者の視点でいじめの本質とその回復の道筋、ヒントを提言します。

